
2023年度 第1四半期決算説明会

2023年8月1日

日立造船株式会社

- ・ 海外でWtEの長期運営を受注し、受注高の通期見通しを上方修正
（+900億円）
- ・ 売上高、営業利益の通期見通しは変更なし

(億円)

	2022年度		2023年度				
	1Q 実績	通期 実績	1Q		通期		通期見通し 進捗率
			実績	前期比	見通し	前期比	
受注高	1,896	7,375	2,222	326	6,200	-1,175	35.8%
売上高	963	4,926	1,024	61	5,200	274	19.7%
営業利益	-9	200	-33	-24	220	20	—
営業利益率	-1.0%	4.1%	-3.2%		4.2%		
経常利益	-17	178	-21	-4	180	2	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	-20	155	-18	2	120	-35	—
ROE		11.5%			8.3%		

2023年度通期見通しの修正について：期初見通しから、次の通り修正を行った。

- 受注高：5,300億円から6,200億円（環境 +790億円、脱炭素化 +105億円、その他 +5億円）

(億円)

		2022年度		2023年度			
		1Q 実績	通期 実績	1Q		通期	
				実績	前期比	見通し	進捗率
受注高		1,896	7,375	2,222	326	6,200	35.8%
	環境	1,503	5,612	1,842	339	4,700	39.2%
	機械・インフラ	250	902	217	-33	860	25.2%
	脱炭素化	122	762	158	36	620	25.5%
	その他	21	99	5	-16	20	25.0%
売上高		963	4,926	1,024	61	5,200	19.7%
	環境	648	3,481	720	72	3,765	19.1%
	機械・インフラ	195	882	204	9	850	24.0%
	脱炭素化	99	466	95	-4	570	16.7%
	その他	21	97	5	-16	15	33.3%
営業利益		-9	200	-33	-24	220	—
	環境	-8	150	-29	-21	180	—
	機械・インフラ	2	34	1	-1	26	3.8%
	脱炭素化	-6	4	-5	1	12	—
	その他	3	12	0	-3	2	—

(億円)

	2023年度		
	見通し		
	期初	今回(8月)	増減
受注高	5,300	6,200	900
環境	3,910	4,700	790
機械・インフラ	860	860	0
脱炭素化	515	620	105
その他	15	20	5
売上高	5,200	5,200	0
環境	3,765	3,765	0
機械・インフラ	850	850	0
脱炭素化	570	570	0
その他	15	15	0
営業利益	220	220	0
環境	180	180	0
機械・インフラ	26	26	0
脱炭素化	12	12	0
その他	2	2	0

(億円)

環境事業（全体）	2023年度			修正理由
	見通し			
	期初	今回	増減	
受注高	3,910	4,700	790	次ページ 参照
EPC(新規建設)	2,290	2,180	-110	
継続的事業	1,620	2,520	900	
売上高	3,765	3,765	0	
EPC(新規建設)	2,125	2,125	0	
継続的事業	1,640	1,640	0	
営業利益	180	180	0	
EPC(新規建設)	48.5	48.5	0	
継続的事業	131.5	131.5	0	

(億円)

環境事業 (Inovaを除く)	2023年度			
	見通し			修正理由
	期初	今回	増減	
受注高	1,990	1,990	0	
EPC(新規建設)	670	670	0	—
継続的事業	1,320	1,320	0	—
売上高	2,085	2,085	0	
EPC(新規建設)	725	725	0	—
継続的事業	1,360	1,360	0	—
営業利益	88	88	0	
EPC(新規建設)	-16.5	-16.5	0	—
継続的事業	104.5	104.5	0	—

Inovaグループ

受注高	1,920	2,710	790	
EPC(新規建設)	1,620	1,510	-110	案件見直し
継続的事業	300	1,200	900	海外でWaste to Energyの長期運営を受注
売上高	1,680	1,680	0	
EPC(新規建設)	1,400	1,400	0	—
継続的事業	280	280	0	—
営業利益	92	92	0	
EPC(新規建設)	65	65	0	—
継続的事業	27	27	0	—

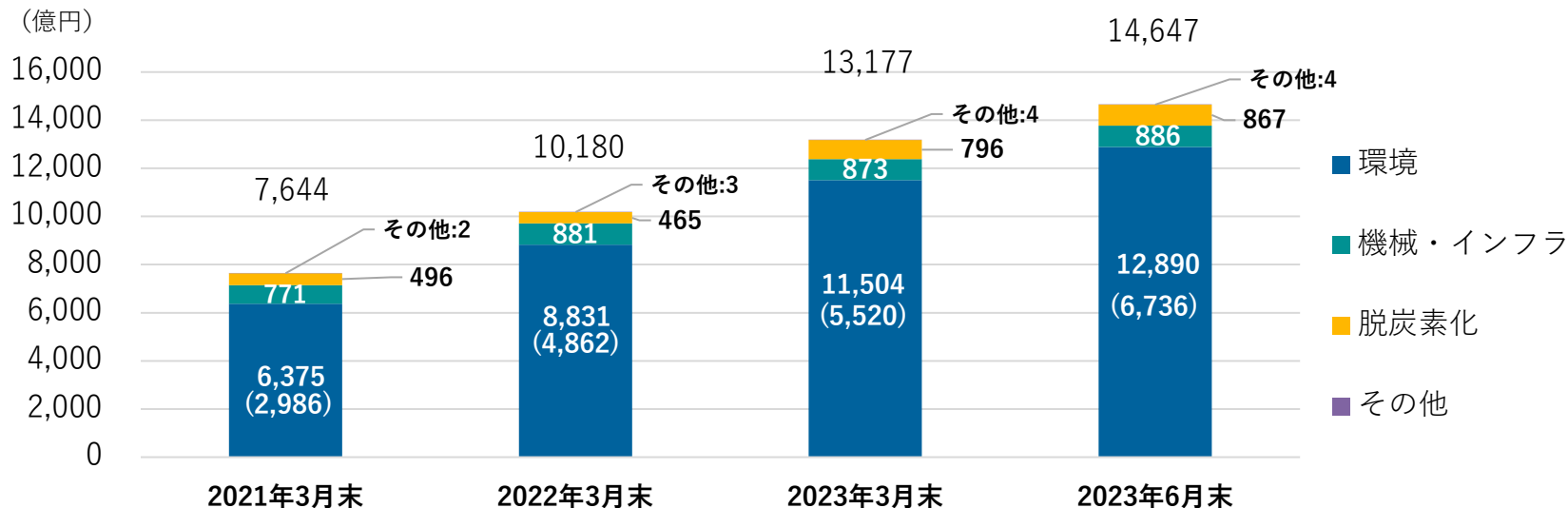
(億円)

機械・インフラ事業	2023年度			
	見通し			修正理由
	期初	今回	増減	
受注高	860	860	0	
プレス	190	190	0	—
精密	320	320	0	—
その他機械	90	90	0	—
インフラ	260	260	0	—
売上高	850	850	0	
プレス	180	180	0	—
精密	300	300	0	—
その他機械	110	110	0	—
インフラ	260	260	0	—
営業利益	26	26	0	
プレス	3.5	3.5	0	—
精密	12	12	0	—
その他機械	6	6	0	—
インフラ	4.5	4.5	0	—

(億円)

脱炭素化事業	2023年度			
	見通し			修正理由
	期初	今回	増減	
受注高	515	620	105	
エンジン	220	220	0	—
プロセス	240	240	0	—
脱炭素化システム	50	50	0	—
風力	5	110	105	むつ小川原陸上風力の長期運転およびメンテナンス（20年間）を受注
売上高	570	570	0	
エンジン	235	235	0	—
プロセス	210	210	0	—
脱炭素化システム	45	45	0	—
風力	80	80	0	—
営業利益	12	12	0	
エンジン	2	2	0	—
プロセス	7	7	0	—
脱炭素化システム	3	3	0	—
風力	0	0	0	—

受注残の推移

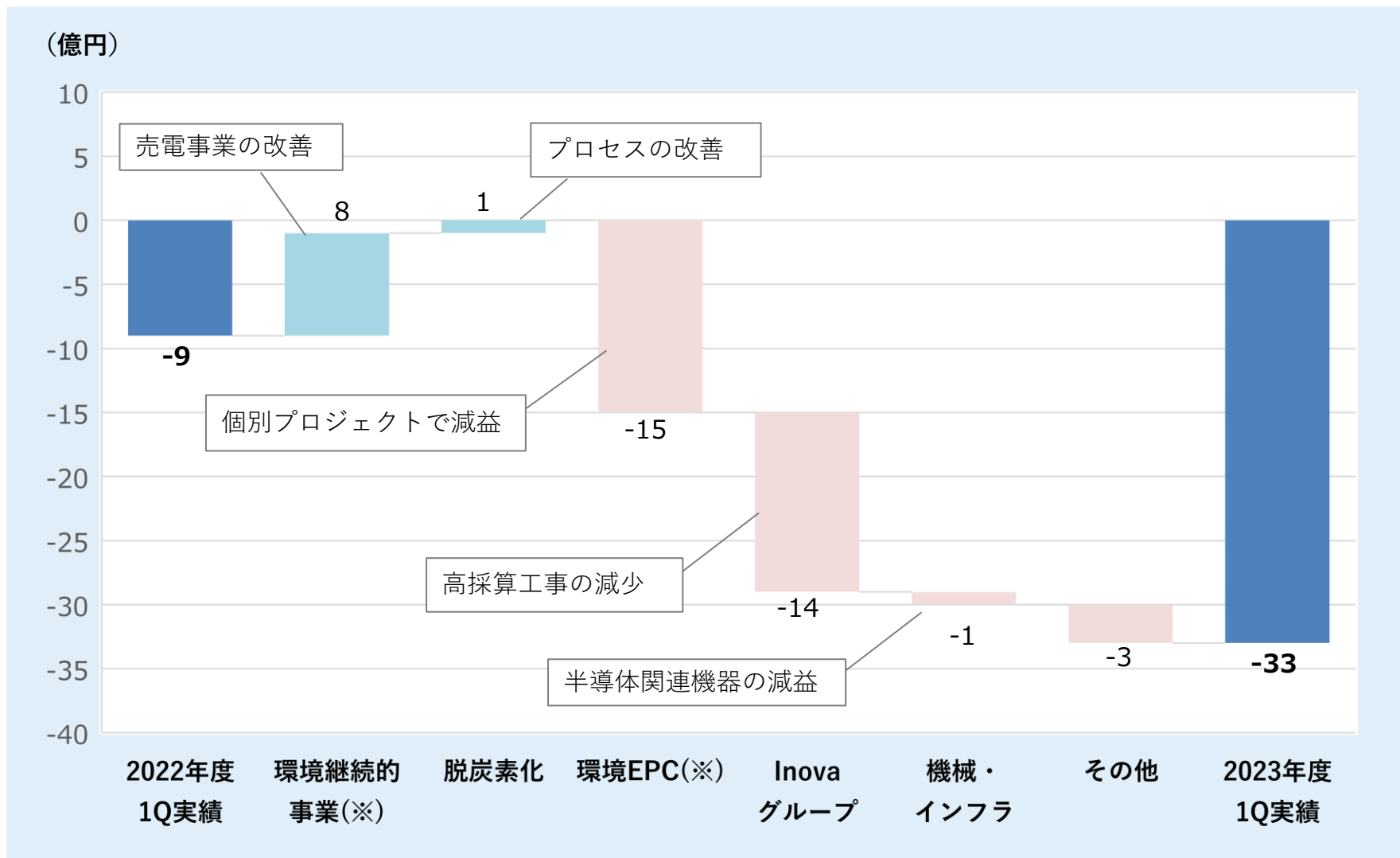


() 内は、環境に含まれる長期運営の受注残

受注残の年度別売上高展開

(億円)

	受注残	2023年度 (2022年度)	2024年度 (2023年度)	2025年度 (2024年度)	2026年度～ (2025年度～)
2023年6月末	14,647	3,945	2,731	1,210	6,761
2022年6月末	11,562	(3,111)	(2,466)	(1,531)	(4,453)
増加額	3,085	834	265	-321	2,308



2023年度 第1四半期決算 連結貸借対照表

(億円)

	2023年3月末	2023年6月末	比較
現金及び預金 (a)	864	1,011	147
営業資産	2,155	1,760	- 395
受取手形、売掛金及び契約資産	1,983	1,529	- 454
棚卸資産	172	231	59
有形・無形固定資産	1,094	1,156	62
その他	683	734	51
資産の部 合計	4,796	4,661	- 135
営業負債	1,146	1,110	- 36
支払手形及び買掛金、電子記録債務	732	538	- 194
契約負債 (前受金)	414	572	158
有利子負債 (b)	865	876	11
借入金(リース債務を含む)	565	576	11
社債	300	300	0
その他	1,372	1,271	- 101
負債の部 合計	3,383	3,257	- 126
自己資本	1,396	1,348	- 48
非支配株主持分	17	56	39
純資産の部 合計	1,413	1,404	- 9
負債・純資産の部 合計	4,796	4,661	- 135
自己資本比率	29.1%	28.9%	
ネット有利子負債 (b)-(a)	1	- 135	- 136

(億円)

	2022年度 1Q累計	2023年度 1Q累計	比較
営業活動によるキャッシュ・フロー	405	*1 218	-187
投資活動によるキャッシュ・フロー	-33	*2 -163	-130
財務活動によるキャッシュ・フロー	-29	-35	-6
為替換算差額	12	18	6
現金・現金同等物の増減額	355	38	-317
現金・現金同等物の期首残高	659	848	189
新規連結に伴う現金・現金同等物の増減額	—	*3 35	35
現金・現金同等物の期末残高	1,014	921	-93

*1 一部手形の廃止(建設業法対象建設工事、資本金3億円以下のメーカー)の影響額：約-130億円

*2 NIAGARA ENERGY PRODUCTS 事業譲受による支出-60億円

*3 日立造船マリンエンジン 今治造船からの第三者割当増資

(億円)

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 見通し
総資産	4,293	4,611	4,796	5,000
現金及び預金	473	672	864	670
自己資本	1,264	1,313	1,396	1,486
自己資本比率	29.4%	28.5%	29.1%	29.7%
ROE	3.5%	6.1%	11.5%	8.3%
有利子負債	981	919	865	865
研究開発費	66	61	86	100
設備投資	108	80	79	100
減価償却費	102	107	105	100

貸借対照表の項目は、各年度末の数字



地球と人のための技術をこれからも

日立造船はつないでいきます。かけがえのない自然と私たちの未来を。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

Hitz
Hitachi Zosen

日立造船株式会社 <https://www.hitachizosen.co.jp/>